



会員とセンターをつなぐ広報誌

生きがいハ王子

第123号 2026年 新年号



編集・発行

公益社団法人

八王子市シルバー人材センター

〒193-0831 八王子市並木町15-15

TEL 042-673-6753 FAX 042-673-7851

メール hachioji-sc@sjc.ne.jp

HP <https://hachioji-sjc.org>



八王子市
シルバー人材センター
名誉会長
しゃけ かずお

初宿 和夫

昨年、団塊の世代の皆様全員が75歳以上の後期高齢期に入りました。また、少子化等による労働人口減少の影響により福祉・介護・医療分野でも人材不足が深刻化しており、八王子市では令和2年(2040年)までに約2000人の介護人材が不足すると試算されています。

こうした超高齢社会の課題に対応するため、八王子市では高齢者の介護予防に効果的とされる社会参加の促進に力を入れており、多くの高齢者が対象となる「八王子てくてくポイント(てくポ)」や、オンラインで参加可能な運動プログラム

の見守り協定事業や「広報はちおうじ」の配布、八王子駅北口などの公衆トイレ清掃業務など、市政への多大なる御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新年、令和8年(2026年)は、八王子市シルバー人材センター開設50周年の節目の年であり、これまでセンターを支えてこられた歴代関係者の皆様の御尽力に深く敬意を表します。時節柄、体調には御留意いただき、どうぞ御自愛ください。本年が皆様にとって穏り多き一年となることを、心より願っています。

「SOFT(ソフト)」への参加を推進しています。シルバー人材センターは、就業を通じ、高齢者の経験や能力を活かして地域社会に貢献されています。昨年グッドデザイン賞を受賞した「銀の声」事業は、高齢者自身が持つ当事者ならではの情報を価値化し、80歳を超えて働く仕組みづくりに取り組んだ点が高く評価されました。社会環境が大きく変化する中では、こうしたシルバー人材センターの取組のように、着眼点をえていくことが新たな価値の創出につながると考えています。



新年ごあいさつ

会員の皆様、あけましておめでとう
アーリーカー様。

ては新たな思い、計画を立てられた」と思っています。

会長としての思いは、「シルバーに入つて、じい」とがでせる喜びだけではなく、

良い仲間ができる、良かった」というだけで、ただけるような地域班を中心とした活動を願いました。

今年は、ついに50周年となる、三井不動産の創立50周年を迎えます。

日に予定されている社員総会後の記念行事も着々と進められており、当口は皆様と共に50周年をお祝いできる事

ら横山本部事務所への移転に伴い、1月に「いちょう祭り」に併せて「シルバーフェア2025を開催しました。これはこれまでにない大きなイベントで皆様の「協力のもと無事成功裏に終わ

り、地域貢献に一役かえたのではない
かと思つております。

また、就業開拓拡充プロジェクトを
立上げ、既存事業の維持・拡大、新規事
業の立ちあげ等について取り組んでお

101

昨年10月にグッドデザイン賞を受賞

あり、「人生100歳時代」の高齢化にむけ、会員の皆様とともに新たな分野にも歩みだしていきたいと思っております。

話は変わりますが、昨年も事故が多く、傷害事故は、25件、賠償事故は、4件（12月現在）と前年度をすでに上回りました。おまけに、

ております。就業時に各ルールを守つていただきことは勿論ですが、移動

会員皆様のお一人お一人が「安全第一」と意識して、事故の未然防

止につなげていただきたいと思います
結びに、令和8年が、会員の皆様に
よろしく一年になりますようご祈念

いたしまして新年の「挨拶」とセセティング
ただきます。



副会長 浅原 ユリ子

新年おめでとうございます。皆様
にとって良き一年でありますよう井
に願います。

動もありますので、ボランティア活動での仲間とのつながりも大切なシルバーの活動になります。物価は高騰し、人件費も値上がりしてきますが、シルバーが健全に運営されていないと、皆さまへの仕事も無く

なつてしまします。シルバーの活動
そのものが社会貢献ですから、シル

「バリーライフ」のためにもいつまでも健康で仕事も出来て、仲間とのつながりを楽しむようにしていきましょう。

「デジタルの波」が押し寄せてきています。デジタル環境整備に向かって取り組みが始ま

今、環境基盤に向か取組みが如きつています。会員の皆様にスマホ利用をお願いしスマスマ登録につなげる活動ですが、なかなか登録が進ん

でいません(1330/2700名
12月末現在)。敬遠せずに登録を
う頑いこします。登録支援らって

お原いいたしもで、鎧金文持もして
いますので遠慮なく」相談ください。
実り多き一年でありますように!!

常務理事 小俣 勇人

新年あけましておめでとうございます。

常務理事 小俣勇人

新年度のお祝いがございます。

会員の皆様におかれましては、健
やかに新春をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。日頃から当シ
ルバ一人材センターの活動にご理解

ど「協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新事務所での運営が本格的に始まり、地域とのつながりをより深める一年となりました。シルバーフェアをはじめ各種行事へのご参加も活発で、会員の皆様の意欲と行動力に、職員一同大いに励まされました。皆様の前向きな姿勢が、センターの活力そのものであると改めて実感した一年でもありました。

一方で、全国的にシルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しています。会員数の減少や平均年齢の上昇により、就業希望と募集職種とのミスマッチが課題となつておらず、柔軟な働き方の提案や新たな就業機会の創出に努めています。今後は、より多様なニーズに応えるため、地域や企業との連携を強化し、就業機会の創出に努めてまいります。

また、物価や人件費の高騰により、当センターの運営にも影響が出ており、令和8年度からは事務費率の見直しを行つことになりました。会員の皆様には発注者様からの対応にご負担をお願いすることになりますが、安定した運営体制を維持するため、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

改革が施行され、外部理事・監事の

設置など、一層のガバナンスの強化が求められます。厚生労働省が進め「新しい契約方法」への移行も控えしており、制度への理解と対応が重要なテーマとなります。当センターとしても、「これらの変化に的確に対応し、信頼される運営を継続してまいります。

役職員一同、こうした社会の変化にしつかりと向き合いながら、会員の皆様が安心して活躍できる環境づくりを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

令和8年が、皆様にとって健健康で実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

総務委員長 大池 克幸

あけましておめでとうございます。

今年は午年、エネルギーッシュで前向きな行動が成功を呼ぶ年とされています。今年50周年を迎える当センターがその先を見据えて次なる一步を踏出す格好の年であり、会員の皆さんにとってより充実した日々の活動につながることを願っています。

さて、ここでは昨年来、重点的に取り組んできた次の4点についてご報告いたします。

一 就業拡大：会員数が漸減方向に

ある中、一年を通して未就業の方が30%程度(約800人)いる一方、植木、除草、清掃、配布などは要員不足で時としてお客様のニーズにお応えできていないケースがあります。就業に役立つ研修の開催や「就業情報」の充実、更にボランティアセンターや地域の団体などと連携し相互の情報を交換しつつ当センターのPRに努めるなど、諸対策を通じて就業者の拡大と会員の増加を図っています。

二 サークル活動拡大：サークル活動は仲間と楽しく集う生きがいの場です。現在10の教室や同好会があり、一部は地域の活性化に大きな役割を果たしています。また教室は拡充することでの貢献にもつながります。皆様のご経験や資格、趣味などを生かしたサークル活動を今後も積極的に進めていきます。

三 個人情報管理の徹底：入会申込書に記載した個人情報がどう使われるのか、不安を抱く入会者がいます。

この不安を取り除くべく入会申込書・誓約書の改訂、地域委員・連絡員を中心としたセキュリティ研修の実施、また会員名簿の取扱いの厳格化、更には2月~3月には「セキュリティ月間」を設け「その名簿、守るのはあなたの意識」の標語の下に一層の周知徹底を図ります。

四 Smile to Smile(スマスマ)普及：一昨年来スマスマの登録をお願いしてきました。目標の会員80%登録にはまだ届いていません。現状の就業情報や配分金をお伝えするばかりでなく、会員の皆様に役立つ様々な情報を載せ、会員とセンターをつなぐ大事なツールとして発展させていく所存です。まだ未登録の方は是非スマスマ登録をお願いします。

50周年の「スマスマ」の「スマルバー」は楽しい組織とする」とあります。「就業と地域活動」に軸足を置くシルバーが会員の皆様にとって「心豊かに生きる場」であることを念頭に置き総務委員会の運営を強力に進めていきます。

今後とも皆様のご指導、協力のほどよろしくお願いいたします。

業務安全委員長 野間 直紀

業務安全委員会は八つの職種班、地区理事、地区から推薦された委員から構成されています。

職種班の中で最も人数の多いのは570名を擁する配布班で、5地区39班で活動しています。しかし、配布班の最大の問題は病気や高齢化による配布する班員の欠員です。この問題の対策として昨年7月からホームペ

一身上に広報配布欠員状況を掲載しました。

しかしながら配布希望者と欠員地区的ギャップもあり、現在も欠員の問題は継続、拡大しています。

次の規模の職種班は250名を擁する放課後子ども教室安全管理班です。5ブロックに分かれ36校で活動しています。年2回の研修会、リーダーによる他校の安全巡回を行っています。

次は班員100名の除草班です。

年間2000件の案件を行っています。課題は夏場の作業です。昨年も猛暑日が続き、気温35度以上の日は原則として作業を行わないと取り決めました。

次は最も人気があり依頼件数の多い植木班です。班員は69名。植木班も班員の高齢化による将来の班維持が課題となっています。就業開拓拡充プロジェクトチームの協力も得て班員拡大に努めています。

次はシルバーの設立当初からあり、最も歴史の古い筆耕班です。班員39名。高尾山の淨書を始め、卒業証書の名入れなど依頼を受けています。次はパソコン班。班員は27名。パソコン、スマホ指導。スマスマの普及活動を行っています。

次は刃物研ぎ班10名、表装班6名と続きます。

業務安全委員会のもつ一つの重要なテーマは会員の作業中、作業途上における事故防止、安全確保の問題です。当センターは人数が多いため事故件数も多くなっています。

委員会として、どうしたら事故を減らせるか。より効果のある安全対策として何ができるか考え、実践していきます。

地域委員会 委員長 水口 良治

地域委員会に携わり半年が過ぎ、新年を迎えることになりました。改めて、あけましておめでとうございます。

昨年は、地域連絡員研修を行い、いろいろな課題をいただきましたの

で、早急な課題は、年度内に解決したいと考え、日々検討をしています。また、根本的な見直し課題については、時間をかけて地域連絡員及び会員様の意見を聞き検討していくことを考えていました。

地域委員会の地区活動としては、地域連絡員による年4回ほどの地区会議、一般会員による地域懇談会や新入会員交流会を開催し、地域連絡員の情報共有化、連携強化や、会員の地区内、地域班内の交流促進を行っています。

地域委員会は、地域連絡員と会員についています。

と「コミュニケーションを取り地域の活性化を進め、各地域の市民センター祭り、シルバーフェア、市施設の環境整備ボランティア、浅川清掃、いちょう祭りの清掃ボランティアを行い、センターのPRや入会の勧誘活動を実施しています。

東部地区では、昨年10月に初めての地区会員との交流イベントを開催しました。

会員と交流するイベントを、地域連絡員の活動により、地区の活性につなげていけるよう引き続き地区活動や地域との連携活動を進めて参りますので、会員の皆様、地域連絡員各位の積極的な参加をよろしくお願ひいたします。

地域委員会 委員長 水口 良治

地域委員会に携わり半年が過ぎ、新年を迎えることになりました。改めて、あけましておめでとうございます。

昨年は、地域連絡員研修を行い、いろいろな課題をいただきましたの

で、早急な課題は、年度内に解決したいと考え、日々検討をしています。また、根本的な見直し課題については、時間をかけて地域連絡員及び会員様の意見を聞き検討していくことを考えていました。

地域委員会の地区活動としては、地域連絡員による年4回ほどの地区会議、一般会員による地域懇談会や新入会員交流会を開催し、地域連絡員の情報共有化、連携強化や、会員の地区内、地域班内の交流促進を行っています。

地域委員会は、地域連絡員と会員についています。

です。

現在、シルバー人材センターの「認知度」はどの程度でしょうか？皆さんのまわりでもシルバーの名前を聞いたことがないという方は少数だと思いますが、では、どういう活動をしているかとなると、「存じないか、間違つて認識されている方も多いと思いま

す。

ひるがえって、私たちシルバーの会員の皆さんはどうでしようか？情報のやり取りは活発ですか？総会や理事会で何を話し合っているのか、どんな仕事があつて、どんな会員さんが就業しているのか、現在、どういう問題・課題があるのか、ご存知ですか？

こういった、情報の「田舎まり状態」の解消を目指します。

今年は、当センター50周年の節目の年ですから、これまでできなかつた取り組みを行っていくつもりです。みなさんの「協力を仰ぐ機会もあると思います。

ようしきお願いいたします。

広報委員会では、

■「おおるり」、「生きがい八王子」の発行

■ホームページの維持管理

■イベントに参加して会員の勧誘などの活動を行っています。

今年の目標は、

●一般市民の「認知度」アップ
●シルバー内の「情報」の共有





会員とセンターをつなぐ広報誌

生きがい八王子

第123号 2026年 新年特別号



編集・発行

公益社団法人

八王子市シルバー人材センター

〒193-0831 八王子市並木町15-15

TEL 042-673-6753 FAX 042-673-7851

メール hachioji-sc@sjc.ne.jp

HP https://hachioji-sjc.org



皆さんご承知の通り、今年は、八王子市シルバーセンター設立50周年に当たります。その節目の年にふさわしい取組みをすべく、昨年から、プロジェクトチームを発足させて、検討を進めてまいりました。

メンバーは、下図のとおりです。毎月、定例会を開催し、議論をかわしています。図のように、がつちりスクラムを組んでの活動です。

これまでの成果は、次ページで細かくご紹介しますが、主なものを列挙すると、

- 記念ロゴマークの制定
- 記念誌の作成
- 記念品の制作

これまでの成果は、次ページで細かくご紹介しますが、主なものを列挙すると、

- 記念ロゴマークの制定
- 記念誌の作成
- 記念品の制作

これまでの成果は、次ページで細かくご紹介しますが、主なものを列挙すると、

- 記念ロゴマークの制定
- 記念誌の作成
- 記念品の制作

- ・困っている人がいたら、自分が助けよう
- ・現場重視
- ・人生100年時代を考えて行動しよう
- ・楽しくやろう

皆さんご承知の通り、今年は、八王子市シルバーセンター設立50周年に当たります。その節目の年にふさわしい取組みをすべく、昨年から、プロジェクトチームを発足させて、検討を進めてまいりました。

メンバーは、下図のとおりです。毎月、定例会を開催し、議論をかわしています。図のように、がつちりスクラムを組んでの活動です。

これまでの成果は、次ページで細かくご紹介しますが、主なものを列挙すると、

- 記念ロゴマークの制定
- 記念誌の作成
- 記念品の制作

- キャッチフレーズ制定
- 50年のあゆみ感謝とともに次のステージへ
- 4つのコンセプト制定

さんが、この一年、楽しく参加できる催しを、これからも多数用意してまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

シルバー50周年記念特集

50周年記念事業実行プロジェクトチームから

プロジェクトチームのメンバー



プロジェクトチームで進めている内容

記念誌

- ・36ページの冊子と、8ページの概要版を作成します。



記念ロゴマーク

すでに、封筒などで使用中です。



記念品

- ・定時総会に出席していただいた会員さんに、「眼鏡立て」、「缶バッジ付きポシェット」を進呈する予定です。



記念式典

2026年(令和8年)
6月19日(金)

- ・定時総会の後に、「50周年記念イベント」として開催します。

八王子市のプロバスケットチーム
「東京八王子ビートレインズ」
そのチアリーダー「Raily's」が
会場と一緒にになったパフォーマンスを
披露してくれます！

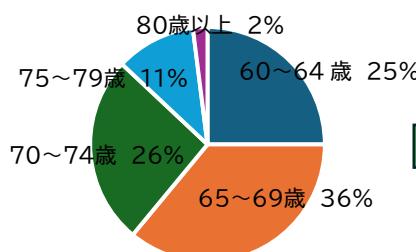
当日ぜひ会場にお越しください。



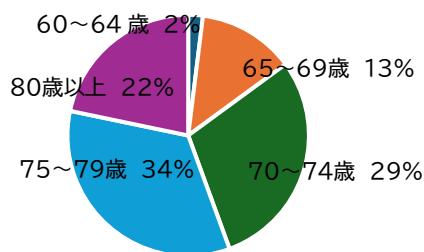
会員数



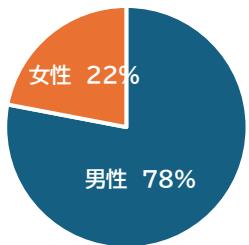
年齢構成



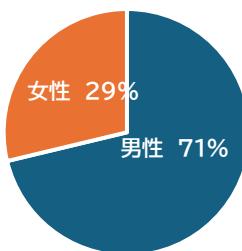
高齢化
の傾向



男女構成



女性の比率
の増加



就業率

53.3%

UPI! 76.5%

就業人数

約5千人

(延べ人数)

UPI! 約17万人

(延べ人数)

多様化する仕事



事務整理・除草・剪定・軽作業・家事手伝い

専門職の
増加

主な仕事の例	
専門・技術	講師、翻訳・通訳など
事務	一般事務、経理事務など
販売	店舗、販売員など
サービス	建物管理、広報配布、福祉・家事支援、育児支援、会館管理など
農林漁業	植木の販売、農業支援、花の手入れなど
生産工程	衣類リフォーム、刃物研ぎ、チップ・堆肥作り、表具・表装など
輸送・機械運転	自動車運転など
建設・採掘	家具修理、内装工事など
運搬・清掃・包装等	屋内外清掃、除草、カート整理など

今までの仕事 + パソコン指導・子育て支援・ICT サポート

時間配分金

320円~

UPI! 1,226円~

受注件数

900件

UPI! 約6,600件

会長



初代
中村 林太郎



第10代
杉浦 茂樹

出典:八王子市高齢者事業団「3年の歩み」データは2025年3月末の実績

50周年に關係して、シルバー人材センターのルーツについて調べてみました。

「生きがい八王子」のバックナンバーを探しました。

「昭和49年12月、進展する高齢化社会を背景に、高齢者の就業ニーズに応え、その希望と能力に応じた仕事の機会の確保を図るため、「東京都高齢者事業団」が設立されました。そのモデル事業団として「江戸川区高齢者事業団」が昭和50年2月24日に発足。その後も、続々と都内各地で、さらには全国へと広がっていきました。高齢者事業団（現在のシルバー人材センター）は、高齢のため、一般雇用になじまないが、働く意欲をもつ高齢者都民のために、その経験と能力を生かして働く機会を確保する「生きがい」のための労働のしくみとして、東京で誕生した公的制度でした。」
(東京しごと財団HPから抜粋引用)



創刊号が(電子データとして)保存されていました。(左図) 昭和56年9月1日号

「会員の皆さんは可能性のある仕事には先ず取り組んでみる『ファイト』を持って、『道は自ら通ず』という言葉の実践を願いたい。」

新年、あけましておめでとうございます。いよいよ、記念すべき50周年の年が始まりました▼広報委員会では、今年一年、様々な取組みを企画する予定ですが、第一弾が、「生きがい八王子」新年号となります。▼創刊号での先輩諸氏の熱い想いに負けないよう、委員全員が活動してまいりますので、皆さんのが協力をお願いいたします。

編集委員 Y

50年の歳月を実感させる写真をひとつ見つけました。



編集後記(広報委員会から)



編集後記(広報委員会から)